

平成28年1月

平成27年	10月	～	12月期	実 績
平成28年	1月	～	3月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き.....	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移	23
* 平成15年1月以降	
〔集計資料〕	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

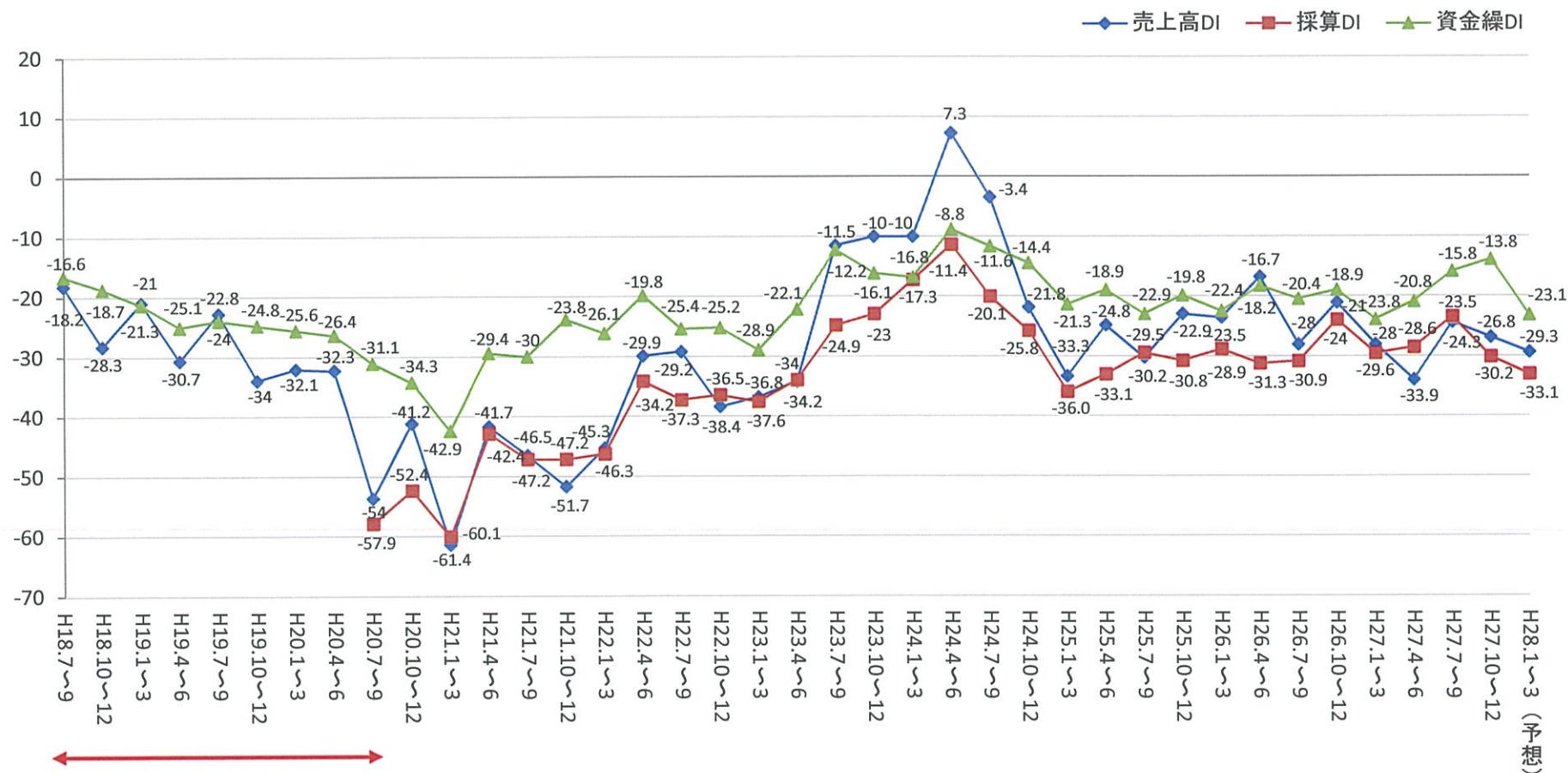
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成26年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成27年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	(見通し) 平成28年 1～3月
製 造 業	 曇	 薄 曇	 薄 曇	 曇	 曇	 雨	 薄 曇	 曇	 曇
建 設 業	 快 晴	 快 晴	 薄 曇	 薄 曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 曇
小 売 業	 曇	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 雨	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇

売 上 高 D I	100.0 ～30.1	30.0 ～10.1	10.0 ～△10.0	△10.1 ～△30.0	△30.1 ～△100.0
表 示	 快 晴	 晴	 薄 曇	 曇	 雨

全産業の推移

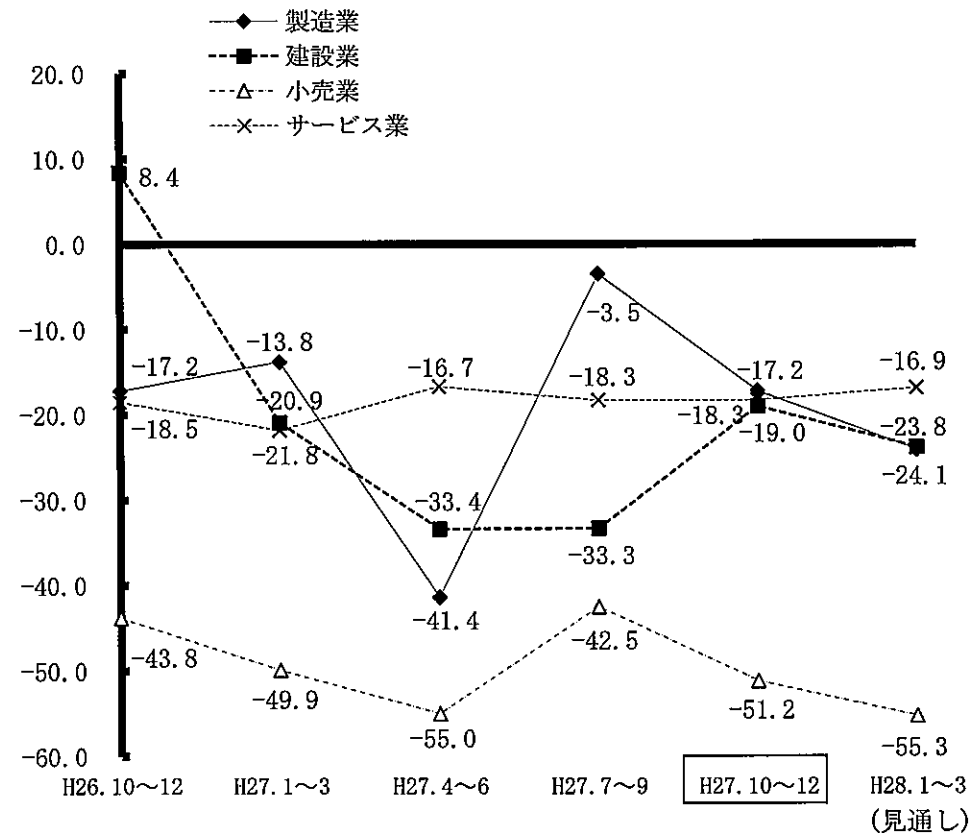
売上高

製造業と小売業が減少

今期は、製造業が、13.7ポイント減少して△17.2、小売業が8.7ポイント減少して△51.2へと低下しました。

また、建設業は、14.3ポイント増加して△19.0まで好転、サービス業はほぼ横ばいの△18.3となっています。

来期は、製造業、建設業、小売業において減少、サービス業がほぼ横ばいの見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採 算

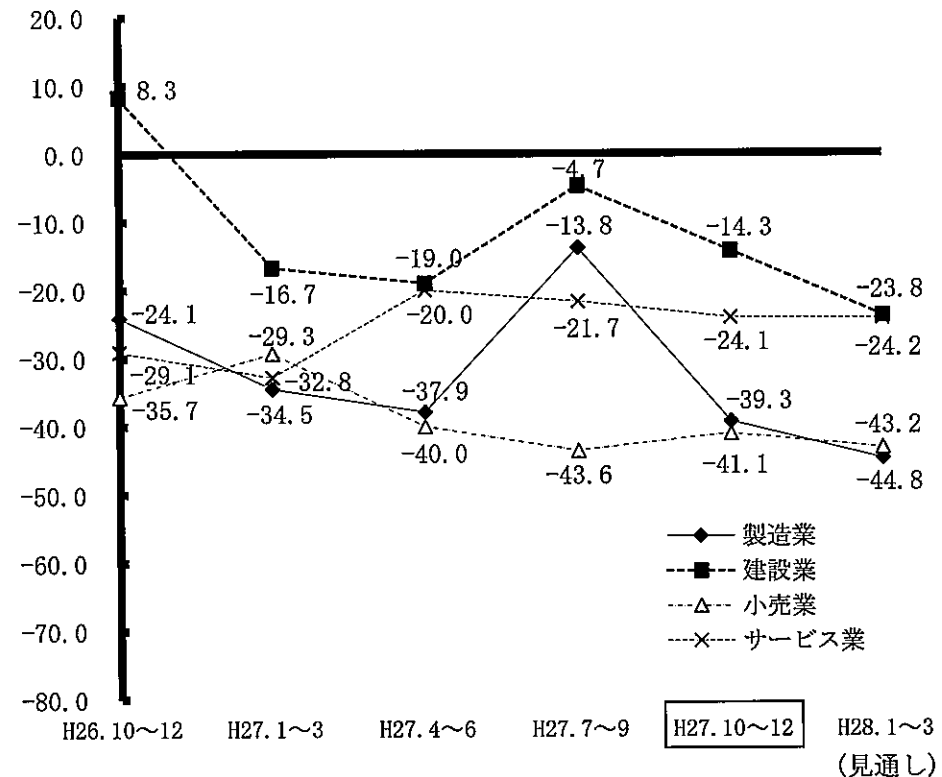
建設業、製造業の採算が悪化

今期は、建設業が9.6ポイント、製造業が25.5ポイント減少しました。

サービス業は2.4ポイントと僅かに悪化し△24.1、小売業では2.5ポイント回復して△41.1となりました。

来期は、サービス業、小売業においてはほぼ横ばい、建設業、製造業が悪化する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



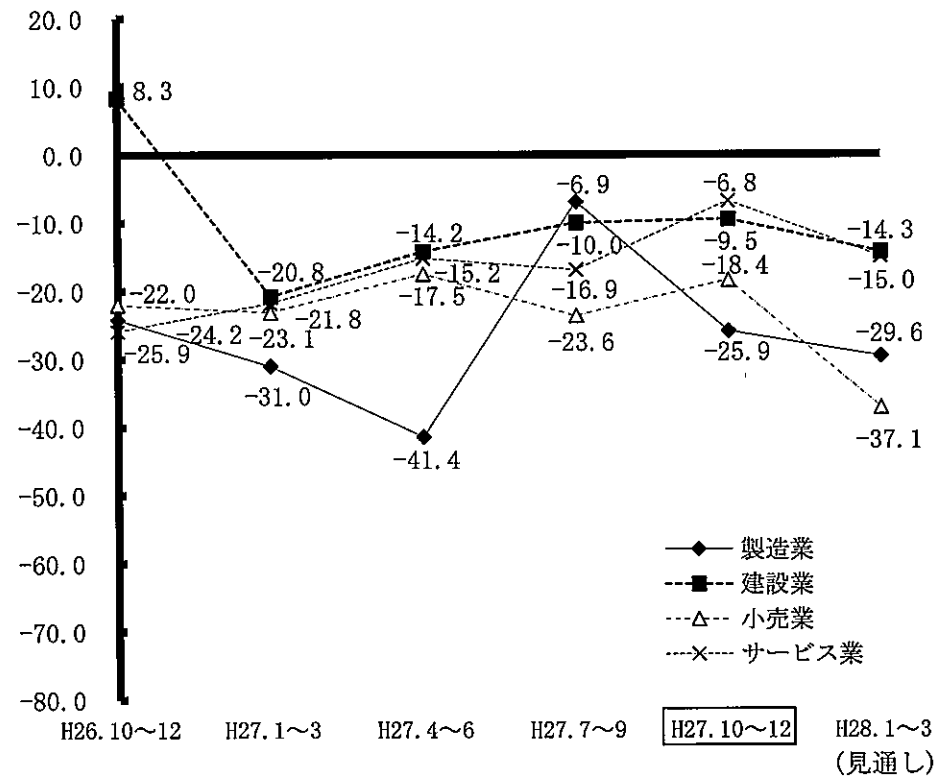
全産業の推移

資金繰り

製造業の資金繰りが悪化
小売業、サービス業でやや好転

今期は、製造業が19.0ポイント低下し△25.9、建設業がほぼ横ばいの△9.5、小売業、サービス業が小幅な上昇となっています。

来期は、全業種において資金繰りの悪化が予想されています。特に、小売業においては18.7ポイントの大幅な低下となる見通しです。



売上高

<今 期>

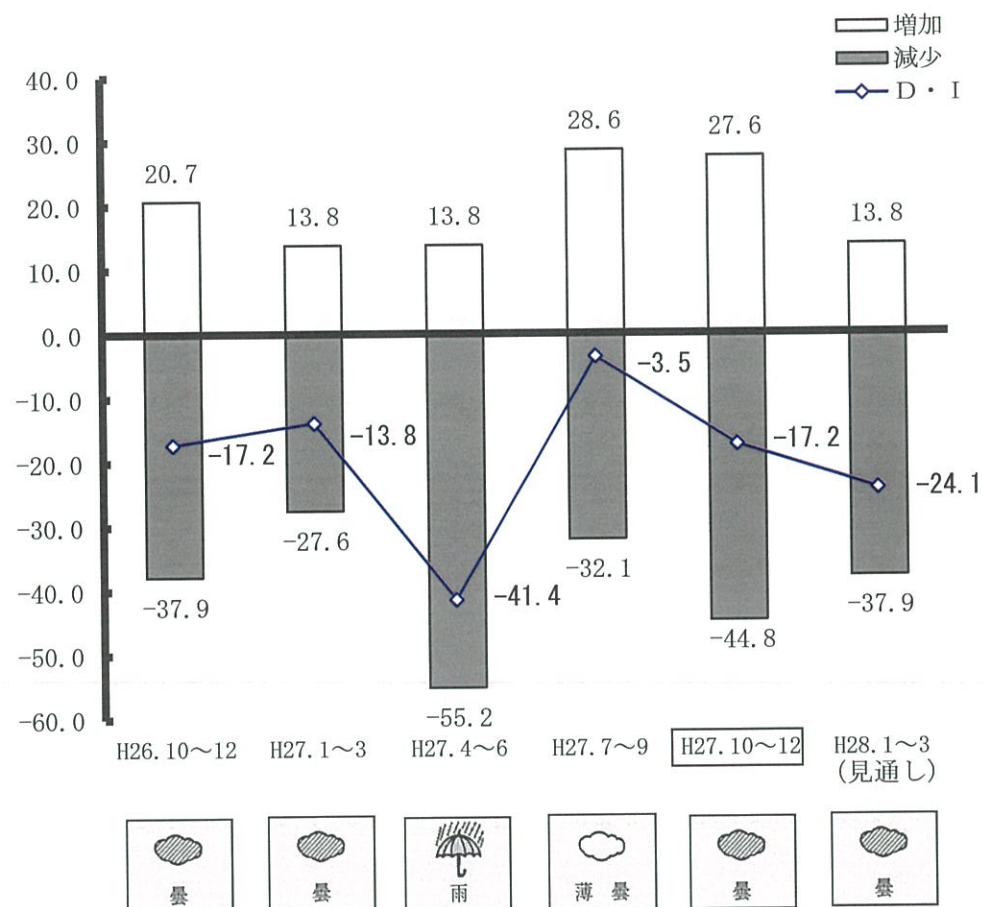


<来期見通し>



今期は、売上増加企業がわずかに減少し、売上減少企業が12.7ポイント増加しました。その結果、売上高D・Iは13.7ポイント低下して△17.2となり、景況天気図も薄曇から曇へと悪化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業、売上の減少を予想する企業がともに減少し、売上高D・Iは△24.1と引き続き低下する見通しです。



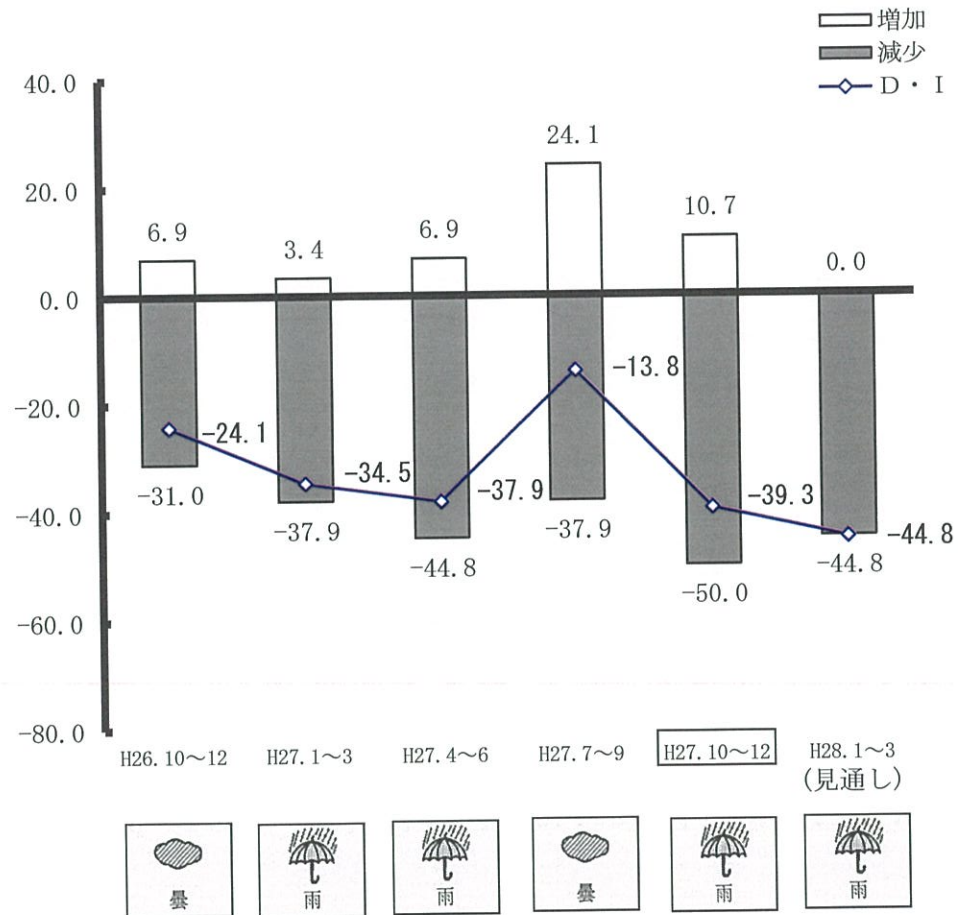
採算

<今 期> <来期見通し>



今期は、採算が好転した企業の割合が大幅に減少し、採算が悪化した企業の割合が増加したことから、採算D・Iは25.5ポイント低下して△39.3となり、景況天気図も曇から雨へと悪化しました。

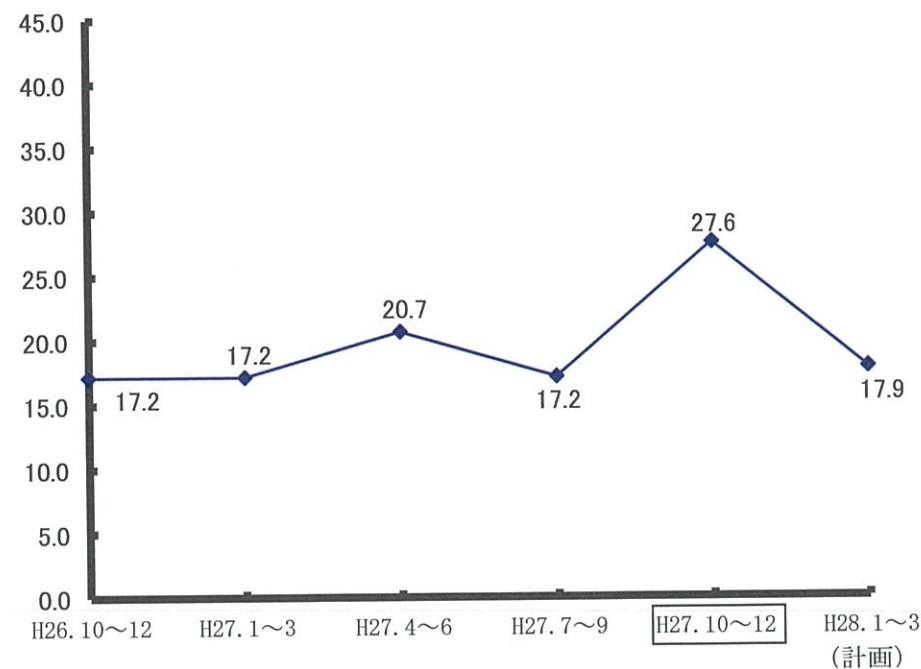
来期の採算D・Iは、採算の好転を予想する企業がなくなるものの、採算が悪化すると予想した企業が減少することから、採算D・Iはやや悪化となると予想されています。



設備投資

今期は、設備投資を行う企業は大幅に増加し、27.6でした。

来期は、売上、採算ともに悪化が予想されており、設備投資も減少すると見込まれます。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

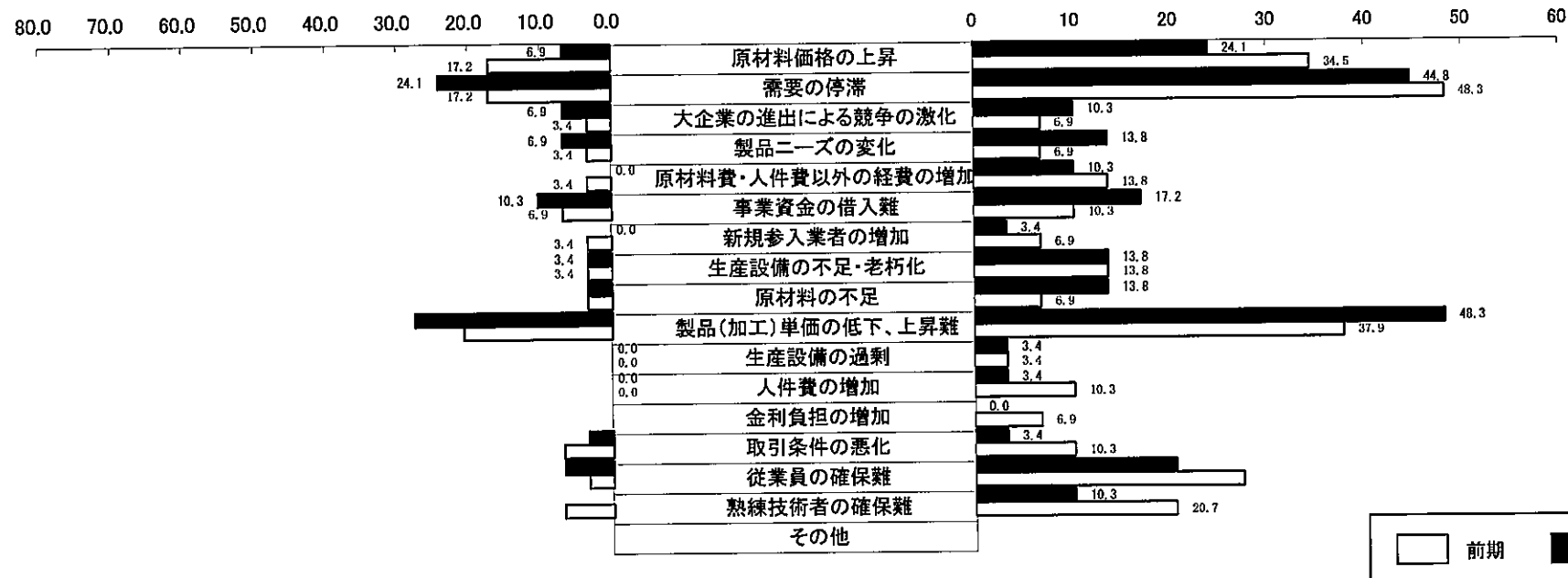
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

1位の問題点

1位～3位の問題点

(目盛:%)



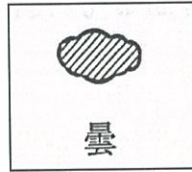
建設業の推移

売上高

<今 期>

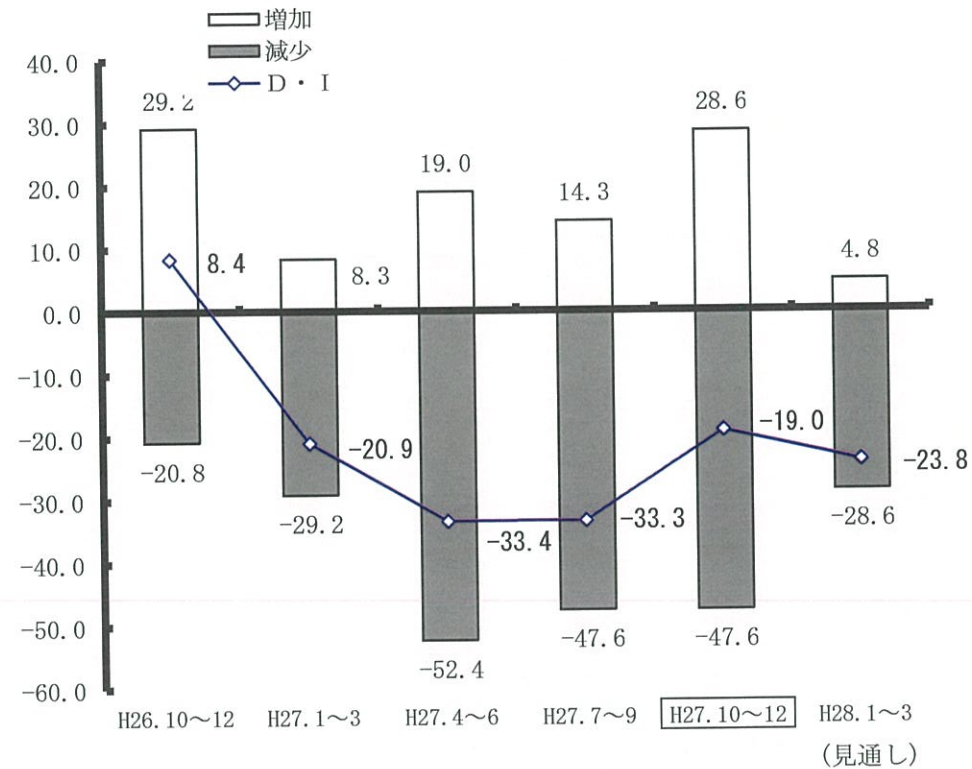


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が大幅に増加し、売上高減少企業が横ばいであったことから、売上高 D・I は 14.3 ポイント上昇して $\Delta 19.0$ となり、景況天気図も雨から曇りへと好転しました。

来期は、売上高の増加を挙げた企業、減少を挙げた企業の割合がともに減少し、売上高 D・I は $\Delta 23.8$ へと低下する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

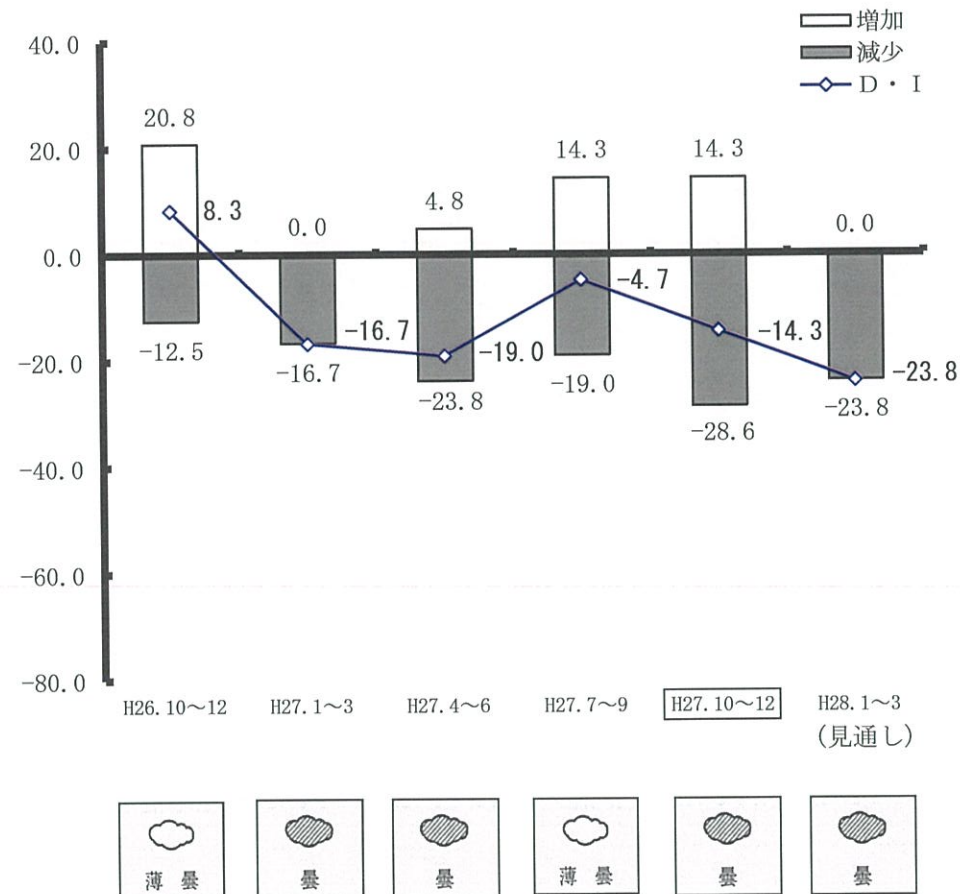
採算

<今 期> <来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業は横ばいでしたが、採算が悪化した企業が増加したため、採算D・Iは9.6ポイント低下の△14.3となり、景況天気図も薄曇から曇りへと悪化しました。

来期は、採算好転を予想する企業がなくなり、悪化を予想する企業が減少する結果、採算D・Iは、連続して低下し△23.8となる見通しです。



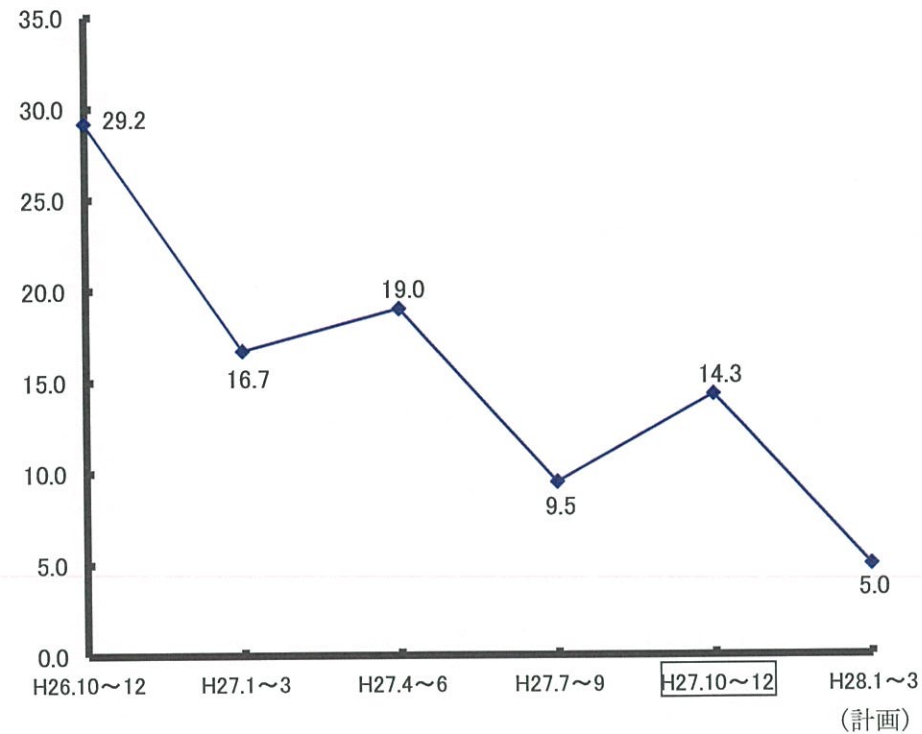
建設業の推移

設備投資

今期は、設備投資を実施した企業の割合が増加に転じ、14.3となりました。

来期は、設備投資を予定する企業が再び減少に転じ、5.0まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

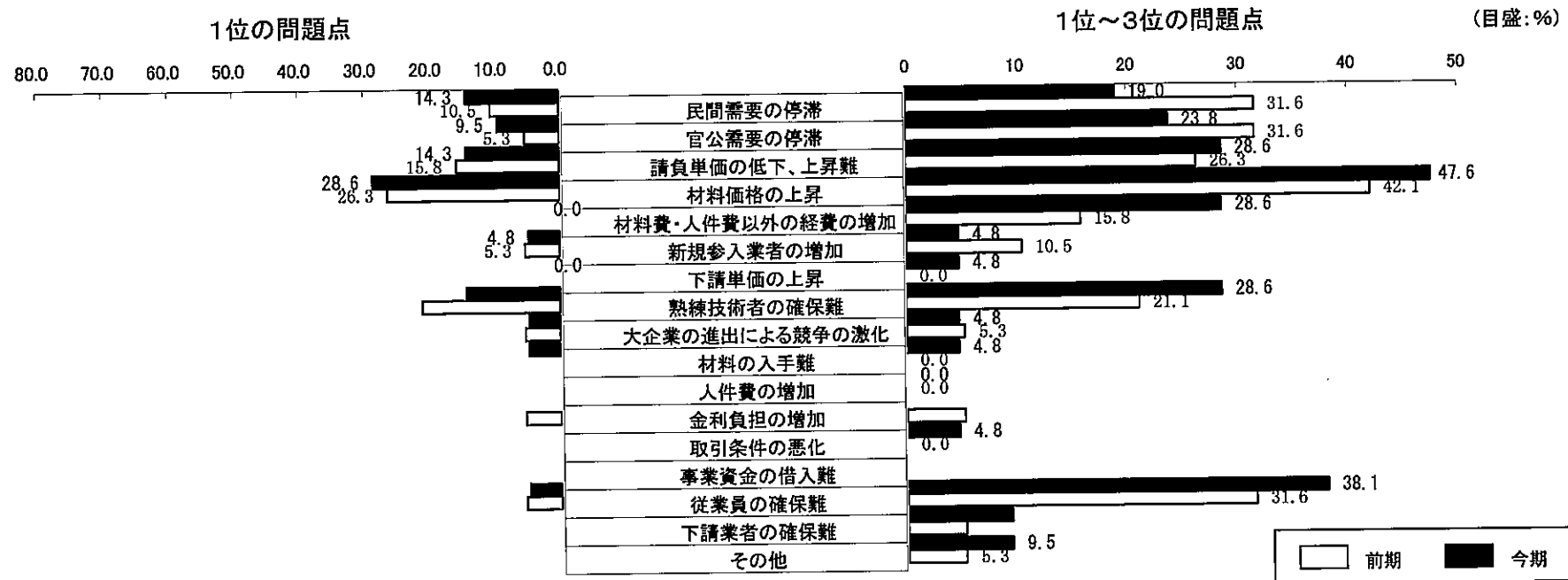


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



小 売 業 の 推 移

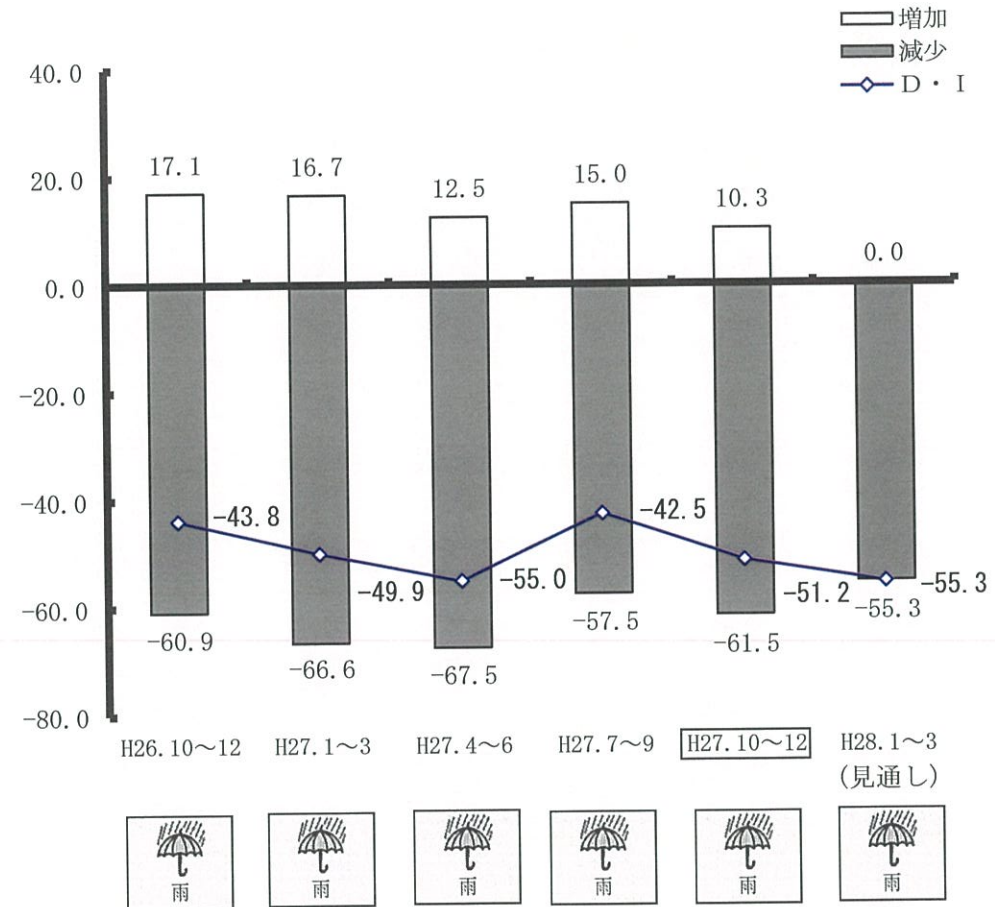
売 上 高

<今 期> <来期見通し>



売上高増加企業が減少し、売上高減少企業が増加したことから、売上高D・Iは8.7ポイント低下して△51.2となり、景況天気図は引き続き雨となっています。

来期は、売上高減少を予想する企業が減少するものの、売上高増加を予想する企業が大幅に減少するため、売上高D・Iは、引き続き低下して△55.3となる見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

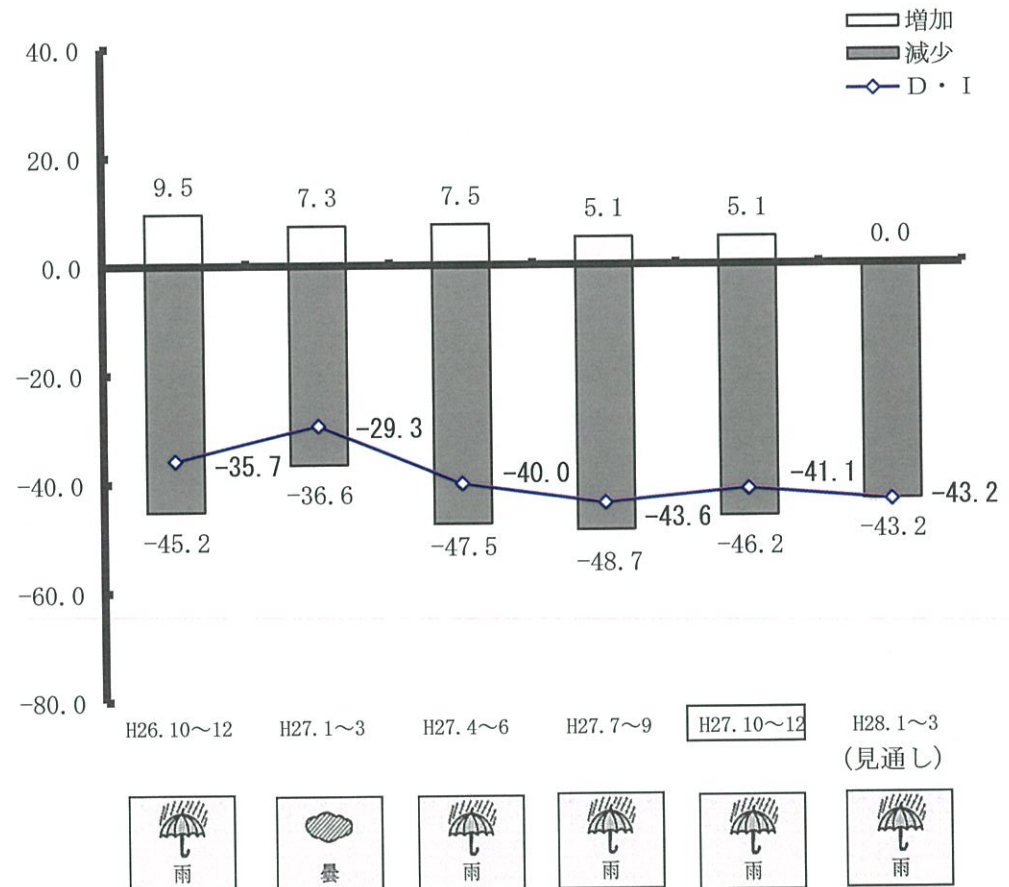


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業が横ばいだったものの、採算が悪化した企業が減少したため、採算D・Iは2.5ポイント上昇し、△41.1となりました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が減少するものの、採算の好転を予想する企業がなくなる結果、採算D・Iは△43.2へ低下する見通しです。

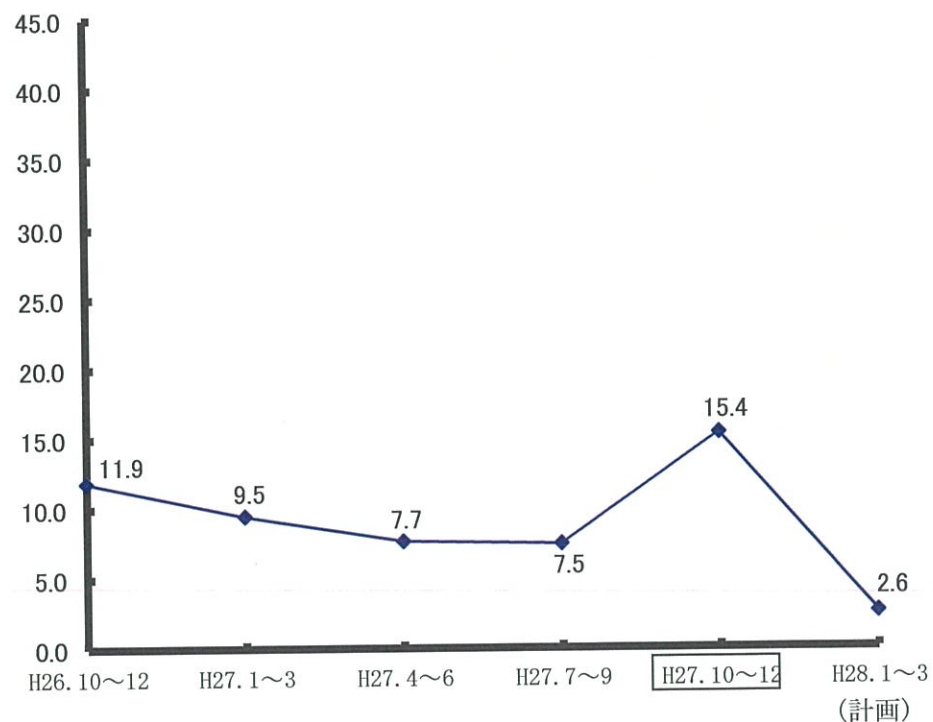


設 備 投 資

今期設備投資を実施した企業は、大幅に増加し、15.4となりました。

来期は、設備投資を計画している企業が大幅に減少し、2.6にまで低下すると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

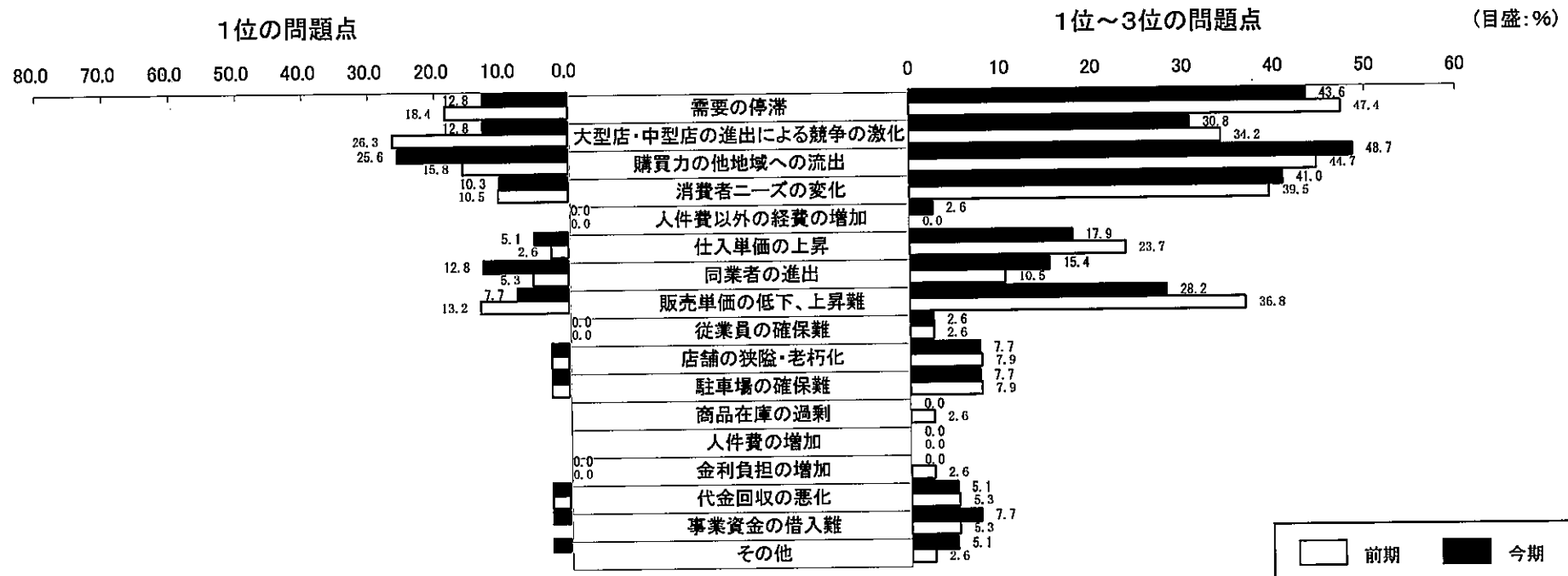


小売業の推移

経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



サービス業の推移

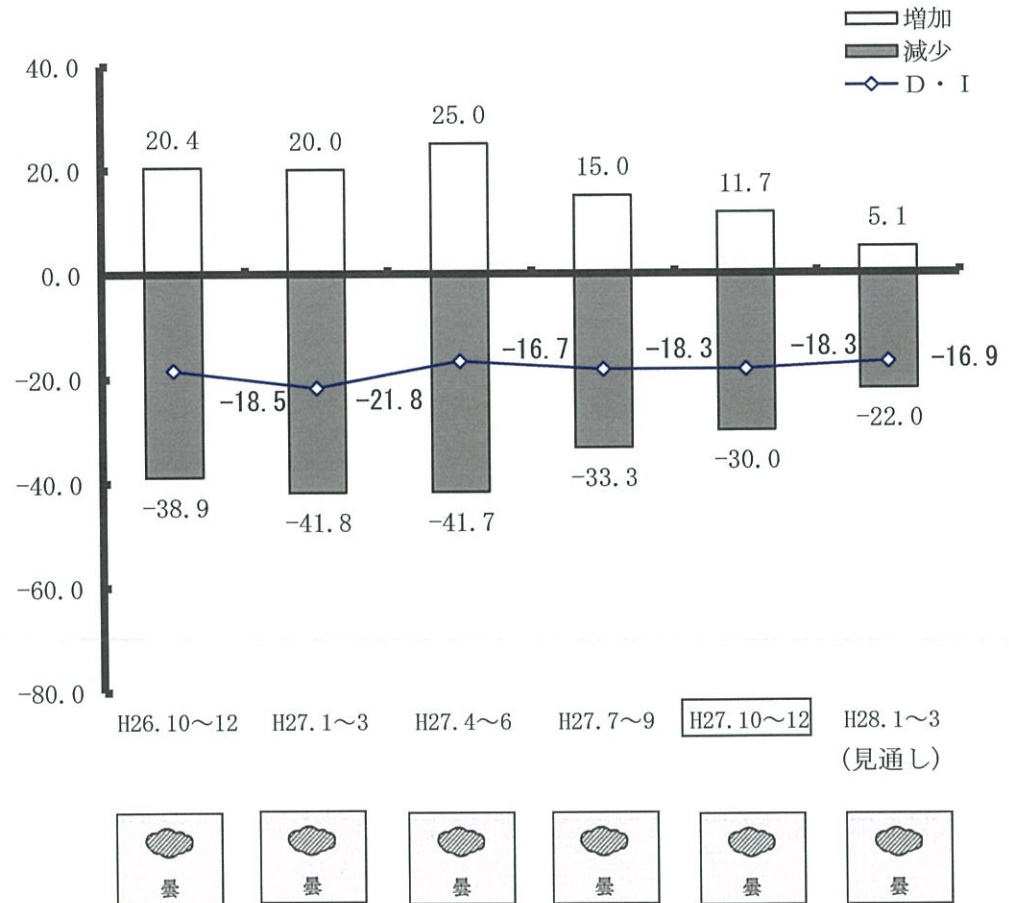
売上高

<今 期> <来期見通し>



今期は、売上高増加企業が3.3ポイント、売上高減少企業が3.3ポイントと、ともに減少したため、売上高D・Iは横ばいとなりました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少するものの、売上高減少を予想する企業も減少するため、売上高D・Iはわずかに上昇し、△16.9と見込まれています。



サービス業の推移

採算

<今 期>

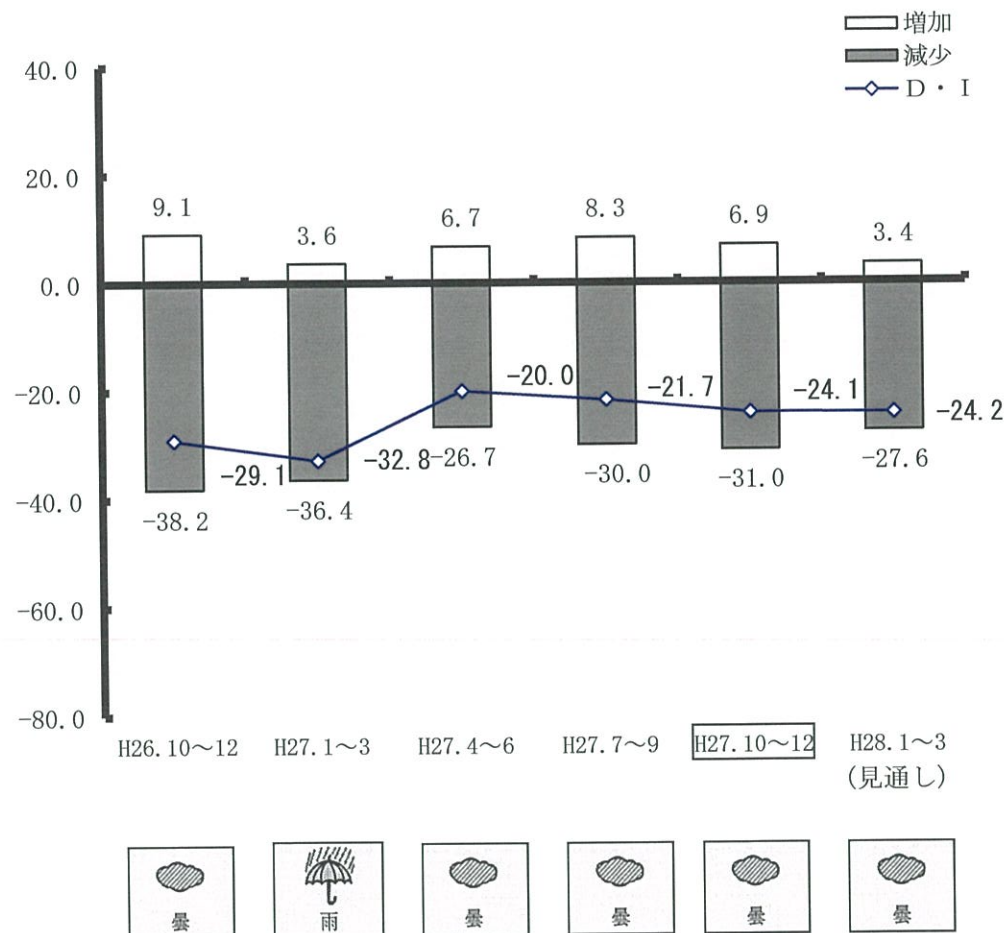


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業が1.4ポイント減少し、採算が悪化した企業数が1.0ポイント増加した結果、採算D・Iは2.4ポイント低下し、△24.1となりました。

来期も採算の好転を予想する企業が減少し、採算の悪化を予想する企業も減少する傾向が続くため、採算D・Iは横ばいとなる見込みです。

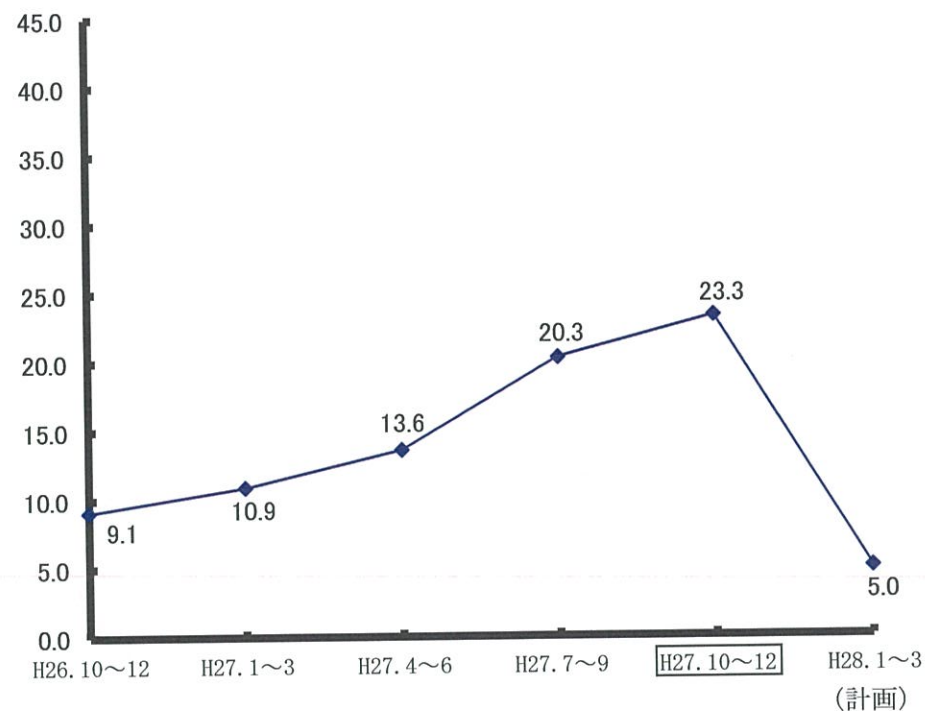


設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は前記に引き続き3.0ポイント増加して23.3となり、4期連続の上昇となりました。

来期は設備投資の実施を計画する企業が大幅に減少し、5.0にまで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

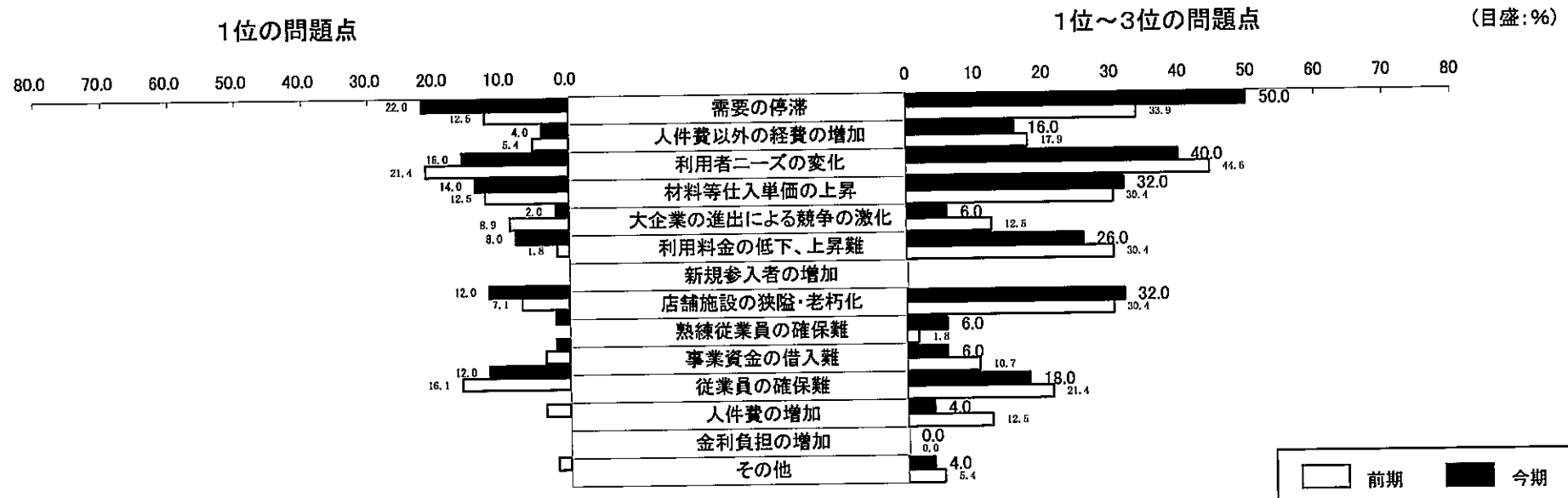


サービス業の推移

経営上の問題点

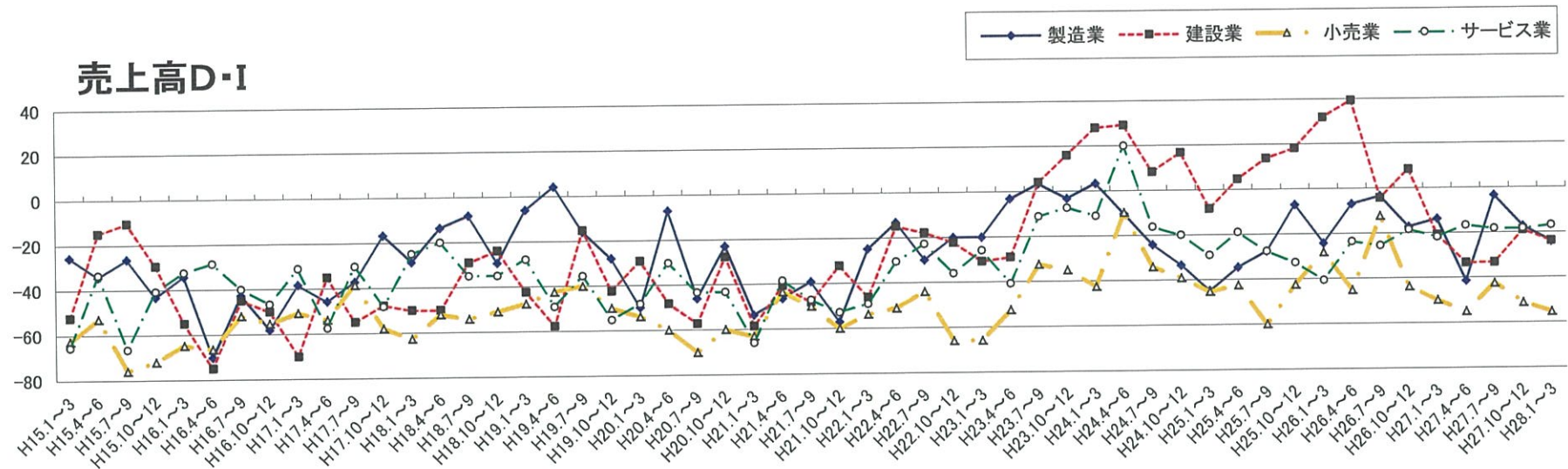
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)

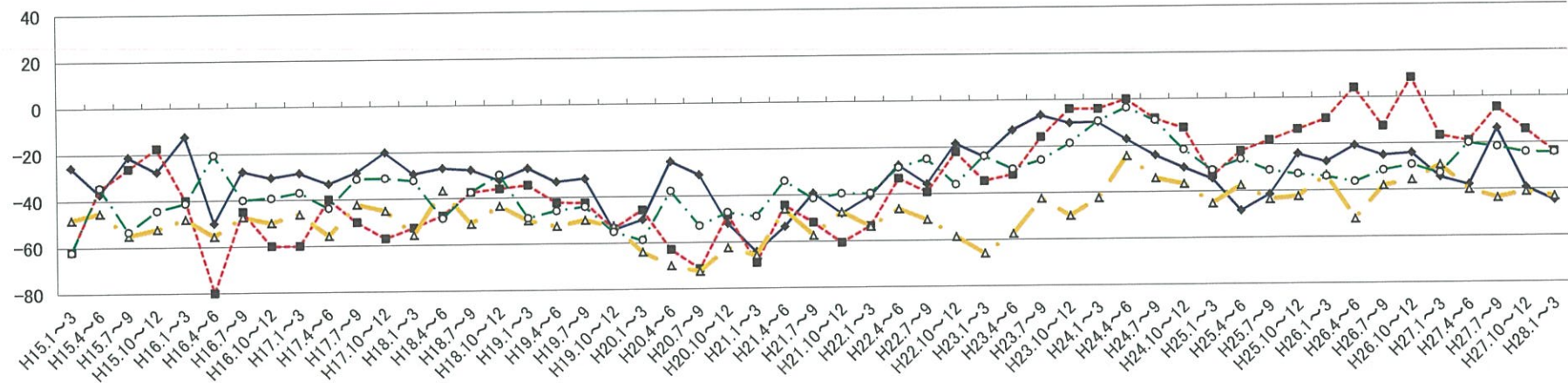


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D-I



採算D-I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ケ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成27年10月～12月を対象とし、調査時点は平成27年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種 \ 項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)	29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建 設 業	21 (14.0)	21 (14.0)	100.0
小 売 業	40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サ ー ビ ス 業	60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
	150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他

本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。